**健康な生活を持続するために**

**－国民健康保険の医療費から考えてみよう－**

問い合わせ　保険年金課医療保険担当　電話23-6051

国民健康保険（国保）は、会社員などが加入する社会保険や共済組合とは別に、自営業や農業など、勤務先の健康保険に加入していない人の医療を保障する制度です。

国保は、加入している被保険者からの保険税と、国や県の負担金などを財源として、県と市が運営しています。

**大崎市国民健康保険加入者の医療費分析**

令和5年度の診療報酬明細書（レセプト）から見た市の国保の医療費の総額は約117億円で、一人当たりの医療費も増加し続けています。（図1）

令和5年度の一人当たりの医療費を男女別にみると、男性は49万5731円、女性は35万748円で男性の方が14万4983円高くなっています。（図2）

疾病別の医療費では、男女共に肺・大腸・胃がんなどの「新生物（腫瘍）」が最も高く、次いで、男性は腎不全や尿路感染症などの「腎尿路性器系疾患」、女性は不眠症やうつ病などの「精神、行動の障害」が高くなっています。（図3）

**特定健康診査の受診状況**

国保に加入している被保険者の特定健康診査の受診状況をみると、女性よりも男性が約5パーセント受診率が低くなっています。（図4）

男性は、特定健康診査などの受診率が低いため、病気が重症化してから受診する場合が多く、医療費が高額になる傾向にあります。また、特定健康診査の受診者は、未受診者よりも一人当たりの医療費が低くなっています。

このような分析結果から、より多くの被保険者が健診を受診することで自身の健康状態を知り、初期症状での治療が重症化を防ぐことにつながることが分かります。

**いつまでも健康な生活をするために、健診を受けましょう**

健診を受けることで早期発見・早期治療につながり、さらに、健康寿命の延伸につながります。おおさき市民健診の申し込みについては、7ページを確認してください。

**■一人当たりの医療費の平均額（図1）グラフ**

令和3年度　宮城県40万3,029円　大崎市41万724円

令和4年度　宮城県40万5,948円　大崎市42万8,978円

令和5年度　宮城県42万3,459円　大崎市44万1,130円

**■患者一人当たりの医療費（図2）グラフ**

令和3年度　男性49万4,103円　女性34万2,444円

令和4年度　男性49万2,816円　女性34万978円

令和5年度　男性49万5,731円　女性35万748円

**■令和5年度疾病別一人当たり（男女別）の医療費（図3）グラフ**

新生物（腫瘍）　男性32万2,750円　女性18万9,858円

腎尿路性器系疾患　男性20万5,430円　女性8万6,184円

精神、行動の障害　男性19万4,888円　女性13万8,868円

神経系疾患　男性12万1,631円　女性11万7,397円

循環器系疾患　男性14万9,011円　女性9万1,690円

筋骨格系および組合組織の疾患　男性5万9,672円　女性8万7,122円

**■特定健康診査の男女別受診状況（図4）グラフ**

令和3年度　男性37.9％　女性42.4％

令和4年度　男性39.1％　女性44.1％

令和5年度　男性39.6％　女性44.6％